

KATSUTA TECHNICAL HIGH SCHOOL

勝田工業高等学校



茨城県立勝田工業高等学校

School guide 2027

校訓

正しい判断

強い意志

清い生き方

■学校長メッセージ

本校は1962年（昭和37年）に旧勝田市（現ひたちなか市）松戸町に創立され、機械科と電気科の2学科でスタートしました。平成20年度に県内唯一の単位制総合工学科へ学科改編され、2021年（令和3年）には創立60周年を迎えて現在に至ります。卒業生は1万4000名を超え、県内はもとより日本の産業界を支える人財として各方面で活躍しています。

本校は、「ものづくりのスペシャリスト」として社会で活躍できる人財を育成することを目標に、幅広い知識とそれに裏付けられた工学の専門性、そして地域や社会の発展を担う職業人としての「基盤となる力」を生徒が身につけられるよう、授業や学校行事等の教育活動を展開しています。

進路支援は3年間を見据えて計画的に実施しており、60～70%が就職、30～40%が大学や専門学校等へ進学しております。部活動は14の運動部と11の文化部が精力的に活動しており、複数の部活動が全国大会・競技会に出場するなど目覚ましい活躍を見せています。このように、多くの生徒が学習や様々な活動に真摯に生き生きと取り組み、毎年ほぼ100%の生徒が就職・進学の進路実現を果たしています。

単位制総合工学科の利点を生かした、工学系の多様な選択科目は、他の工業高校にはない本校の大きな魅力の一つです。興味や進路志望に応じて2年時から希望する分野を学ぶことにより、高度な専門知識や技術・技能を効果的に身につけることができます。進学・公務員向けの選択科目もあり、多様な進路実現が可能となっています。資格取得にも学校を挙げて取り組んでおり、有資格者による指導など、充実したサポート体制の下、毎年、工学を中心に英語、数学、国語等の資格検定において、多数の生徒が国家資格を含む資格を取得し、キャリアアップを実現しております。

また、県内有数の施設・設備を有しているのも本校の強みです。3クラス同時に利用可能な課題研究室、計100台のコンピュータを有するパソコン室、製図室、旋盤22台が整備されている機械実習室、3次元CAD、マシニングセンタ実習室、CNCモデリングマシン、電力関係の様々な実習室、校内どこでもつながるWi-Fi環境など、学習環境が充実しており、生徒の幅広い知識と専門性の向上に寄与しています。

工業教育は「ものづくり」を通して、豊かな人間性をもった「人」を育成する「人間教育」でもあります。生徒の皆さんが本校での3年間の学びを通して大きく成長し、自身の可能性を広げ、地域・社会の発展に貢献できる人財となってくれることを願っております。

勝田工業高等学校長 安島 尚毅

■生徒会長メッセージ

皆さんこんにちは。生徒会長の引田優利です。勝田工業は一人一人が自分の目標に向かって勉強、部活動に取り組む主体性のある学校です。勝田工業は、県内唯一の総合工学科であり、一年次で自分に合った系を見つけた後、二年次、三年次からは自分で選んだ系を専門的に学ぶことができます。また、施設や設備が本格的で、実際に就職したあとも実習で学んだことをそのまま仕事に活かすことができます。資格取得に関しても、先生方の手厚いサポートがあり、多くの生徒がたくさんの資格を獲得しています。

部活動も盛んで、運動部はもちろん工業高校ならではの珍しい部活もたくさんあるのがこの学校の魅力だと思います。

毎日が充実した学校生活を送りたい、仲間と楽しい青春を送りたいという方はぜひ、勝田工業に来てもらえると生徒一同とても嬉しく思います。

皆さんのことをお待ちしております！

生徒会長 引田 優利

ものづくりのスペシャリストを目指す **「総合工学科」**

県内唯一の単位制工業高校 **4つの「学べる」**
「総合工学科」の特色

1 “工業” を総合的に学べる

「ものづくり」は様々な分野の知識・技術が必要です。そこで、1年次の「工業技術基礎」2年次・3年次の「実習」を通して、電気・機械・情報・制御の基礎的な実習・実験を行い、各系のつながりを意識しながら工業について幅広く学ぶことで、ものづくりのスペシャリストを目指します。

2 “4つの系” について学べる

総合工学科には電気系・機械系・情報系・制御系の4つの系がありますが、この「系」には二つの意味があります。総合工学科では、電気・機械・情報・制御の4分野について、共通科目である実習を軸に生徒全員が学びます。この全員が学ぶ工業の4つの分野を表すのが一つ目の「系」です。その一方で、総合工学科には、電気・機械・情報・制御の4分野の中から必ず選んで学習するコア科目と呼ばれる科目があります。コア科目の選択には、自分の専門とする分野を決めるという意味があり、例えば電気の科目を選択した生徒のことを電気系、機械の科目を選んだ生徒を機械系と呼んでいます。これが生徒の専門性を表す二つ目の「系」です。



3 “選択科目” が豊富で自分の好きな科目を選んで学べる

総合工学科では、さまざまな選択科目の中から自分の興味や進路にあった好きな科目を選んで学習することができます。選択科目は、生徒の学習に対する主体的な態度（生徒が自ら進んで学習に取り組む）を育み、幅広い知識やより専門的な知識を効果的に身につけることができます。そして、選択科目にも実習があるのが総合工学科の特色です。選択実習では、共通実習よりも専門性の高い実習に取り組み、専門的な技能の習得に力をいれています。また、普通教科の科目を中心とした進学・公務員講座を選択することも可能です。

4 “資格取得” について学べる

今は社会的・職業的に自立し、社会のなかで自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現する力が求められています。総合工学科では、生徒一人一人の選択肢を広げるために、各種の資格取得を奨励しています。本校では、多くの生徒が資格取得にチャレンジしています。

また、資格取得につながる授業を選択科目に設定し、資格取得に熱心な生徒をサポートしています。

※ジュニアマイスター顕彰制度とは、資格や競技会の成績を点数化して合計点で、「全国高等学校長協会」が表彰する制度です。



※資格についてはP6に詳細があります

令和7年度ジュニアマイスター顕彰制度受賞者



4つの系統



電気系



電気に関する基礎理論、電力技術に関する発電・変電・送電・配電理論について学習します。
また、電子技術では、トランジスタを用いた増幅回路やデジタル回路など、自動制御ではシーケンス制御に関する基本回路を学習します。



機械系



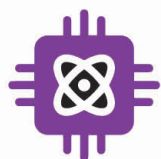
産業の基礎となるのは、機械工学です。
機械全般について金属加工（旋盤・フライス盤・ボール盤・NC旋盤・マシニングセンタ）や工作機械の操作について学びます。
本校では、加工技術だけではなく、機械系安全に関する内容も幅広く学びます。



情報系



情報技術に関する、基礎理論や応用技術について学習します。コンピュータそのものであるハードウェアやプログラミング言語、ネットワークを構成する通信技術について幅広く学習し、実際に用いられている情報技術について理解を深めていきます。



制御系



メカトロニクスの基礎としてセンサ技術・アクチュエータ技術・制御技術などについて学習します。
また、シーケンス制御やコンピュータ制御について理解を深め自動化された機械や産業用ロボットなどの活用について考えます。



教育課程 (変更になる可能性があります)

年次	分類	科目
1 年 次	共通科目	言語文化
		公共
		数学Ⅰ
		科学と人間生活
		体育
		保健
		美術Ⅰ
		英語コミュニケーションⅠ
		家庭基礎
		工業技術基礎
		生産技術①
		工業情報数理①
		総合的な探求の時間・「道徳」
		製図
2 年 次	共通科目	現代の国語
		歴史総合
		数学Ⅱ
		物理基礎
		体育
		保健
		英語コミュニケーションⅠ
		実習
		製図
	コア1科目	電気系 電気回路①
		機械系 機械設計①
		情報系 ハードウェア技術①
		制御系 電子機械①
	選択科目	講座1 電子技術 機械工作① 生産技術② 英語コミュニケーションⅡ 数学A
		講座2 電力技術① 原動機① プログラミング技術① 数学B 化学基礎
	必修修選択 何れかを	講座20 生産技術④ (QC. 危険物) 工業情報数理② (ITパスポート)
		講座21 (前期) 電気回路③ (2種電工) 実習 (普通旋盤) 実習 (機械保全) 実習 (ボイラー)
		講座22 (後期) 通信技術② (工担) 実習 (電子機器組立)
3 年 次	共通科目	国語探求
		地理総合
		数学Ⅱ
		英語会話
		体育
		実習
		課題研究
	コア2科目	電気系 電気回路②
		機械系 機械設計②
		情報系 ソフトウェア技術
		制御系 電子機械②
	選択科目	実習 (電気系) 実習 (機械系) 実習 (情報系) 実習 (制御系) 実習 (CAD)
		講座3
		講座4 電力技術② 機械工作② ハードウェア技術② 電子計測制御 論理・表現Ⅰ 政治・経済
		講座5 電気機器 自動車工学 生産技術③ コンピュータシステム技術 電子回路 数学Ⅲ 英語コミュニケーションⅡ 生物基礎
		講座6 通信技術① 原動機② プログラミング技術② 物理基礎探求 中国語 ライフデザイン 数学総合 化学基礎 美術Ⅱ

1 年次の時間割例

	月	火	水	木	金
	SHR				
1 限目	数学Ⅰ	言語文化		英語コミュニケーションⅠ	生産技術
2 限目	生産技術	科学と人間生活	工業技術基礎	言語文化	英語コミュニケーションⅠ
3 限目	体育	製図		総合的な探求の時間	科学と人間生活
	昼休み				
	清 掃				
4 限目	工情数	保健	LHR	美術Ⅰ	言語文化
5 限目	英語コミュニケーションⅠ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	家庭基礎	公共
6 限目	美術	工業情報数理	公共	家庭基礎	体育

2 年次の時間割例 ※太枠は選択科目

	月	火	水	木	金
	SHR				
1 限目	体育	製図	コア1	物理基礎	保健
2 限目	歴史総合	講座2	英語コミュニケーションⅠ	講座1	歴史総合
3 限目	現代の国語	数学Ⅱ	体育	コア1	講座1
	昼休み				
	清 掃				
4 限目	コア1	実習	LHR	講座2	物理
5 限目	物理	実習	数学Ⅱ	英語コミュニケーションⅠ	現代の国語
6 限目	数学Ⅱ	実習	物理基礎	講座20 (通年) 講座21 (前期) 講座22 (後期)	英語コミュニケーションⅠ
7 限目	講座21 (前期) 講座22 (後期)	講座21 (前期) 講座22 (後期)		講座21 (前期) 講座22 (後期)	

3 年次の時間割例 ※太枠は選択科目

	月	火	水	木	金
	SHR				
1 限目	コア2	実習	体育	数学Ⅱ	数学Ⅱ
2 限目	講座4	実習	講座5	地理総合	講座6
3 限目	講座6	実習	コア2	体育	国語探求
	昼休み				
	清 掃				
4 限目	国語探求	講座5	LHR		英語会話
5 限目	体育	講座4	講座3	課題研究	コア2
6 限目	地理総合	英語会話			講座5

勝田工業での思い出と今後の目標



檜山 悠斗
（勝田第二中学校出身）
株式会社 関電工 茨城支店

私の勝田工業高校での思い出は数多くありますが、特に印象に残っているのは部活動と修学旅行です。

部活動ではラグビー部に所属し、毎日厳しい練習に取り組みました。私は高校からラグビーを始めたため、入部当初は基本的なルールさえ分からない状態でした。しかし、先輩方から優しく多くのことを教えていただき、3年間続けることができました。この経験を通して、物事を継続することの大切さや、仲間と協力することの大切さを学びました。

修学旅行では、3泊4日で広島と大阪を訪れました。広島では原爆ドームを見学し、戦争や原爆の恐ろしさについて深く学ぶことができました。また大阪では、市内観光に加え、USJや大阪城を訪れました。どれも初めて訪れる場所で、毎日が新鮮で、とても充実した時間を過ごすことができました。この修学旅行は、一生忘れることのない大切な思い出になりました。

総合工学科の魅力は、1年生のうちに電気系・機械系・情報系・制御系の4分野を幅広く学び、2年生から自分の進みたい分野を選択できる点にあると思います。私は電気系を選択しましたが、先生方のご指導のおかげで、第1種電気工事士の資格を取得することができました。

現在は、OBの先輩方が数多く入社している株式会社関電工の屋内線技術職として社会人生活をスタートさせました。業務内容は主に、建物内の電気設備に関する施工管理を行う仕事だと認識しています。しかし、今はまだ座学を中心とした研修期間中のため、残念ながら、具体的な業務内容について詳しく述べることはできません。

今後は、電験三種や施工管理技士などの難関資格の取得を目指しながら、一日でも早く現場で活躍できる社員になることを目標に頑張っていきたいと思います。

勝田工業高校で学んだこと



山田 琉斗
（那珂湊中学校出身）
サイデン化学株式会社 東京工場
生産本部製造課

私が高校生活で最も力を入れたのは部活動です。

サッカー部に所属し、基礎体力づくりや戦術の理解まで毎日練習を重ね努力しました。

思うような結果が出せず悩むこともありましたが、チームの目標達成のために仲間と切磋琢磨し乗り越えました。

練習で体力や技術を身に付けただけでなく、試合を通じて協調性と最後までやり切る精神力の大切さを学び、人間的な成長も感じる3年間でした。

卒業後は工業用の粘着剤、接着剤、コーティング剤などを製造するメーカーに勤務しています。

取り扱う製品はスマートフォンやテレビ、テープやラベル、自動車塗料など広い分野で使われ、私たちが日常的に手にする物ばかりです。

総合工学科では機械系を専攻し、機械や工具の使い方を学び、安全に対する意識も身に付きました。職場にはたくさんの機械や工具があり、学んだこと身に付けたことを活かせることが嬉しいのです。

現在は生産本部製造課に所属し、製品を容器に充填して最終製品に仕上げる仕事をしています。自分が仕上げた製品が多くの日常を支えていると思うと、社会的責任感とやりがいを感じます。

今は新しい仕事を覚えることが楽しい毎日です。

高校生活の思い出



鴨志田 美菜
（東海中学校出身）
国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構

私は忙しくも充実した3年間を送りました。同性が少ない環境で不安でしたが、クラスメイトや部活の先輩方のおかげですぐに馴染むことができました。私は吹奏楽部に所属し、毎日の練習を繰り返す中で資格取得や成績維持の勉強、アルバイトとの両立など、日々忙しく過ごしていました。その一方で、クラスマッチやマラソン大会、修学旅行、勝田祭といった学校行事ではクラス一丸となって盛り上がり、かけがえのない思い出を作ることができました。

また、私は情報系を中心に学びながら、電気系の資格である第二種電気工事士に挑戦しました。総合工学科は1年次に全体の系の基礎を学び、2年次から選択した系を深く学べる環境です。系にとらわれず自分が学びたい分野に挑戦することもできます。私も挑戦した結果、無事に第二種電気工事士の資格を取得することができました。

このような高校生活を送り今現在は、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構に入社して1年目を開始したところです。まだ慣れない業務がたくさんありますが高校生活で学んだことをいかしながら、日々努力していきたいです。

勝田工業での身につけたものと現在について



向川 翔
（勝田第三中学校出身）
茨城県立情報テクノロジー大学校

高校生活を振り返ると、仲間と協力して一つの目標に取り組む大切さや、自分で考えて行動する力を学ぶことができました。授業や実習では思い通りにいかないこともありましたが、そのたびに試行錯誤を重ねることで、問題を解決する力や粘り強さを身につけることができたと感じています。

勝田工業高校 総合工学科では、機械・電気・情報など幅広い分野を学ぶことができ、自分の興味や将来の進路を考えるきっかけになりました。実際に手を動かして学ぶ実習も多く、知識だけでなく実践的な技術を身につけられる点も大きな魅力です。

現在は茨城県立情報テクノロジー大学校で情報工学を学んでいます。まだ学び始めの段階ですが、これから専門的な知識や技術がどのように広がっていくのかとても楽しみです。今後は学んだことをしっかりと身に付け、自分の力として活かせるよう努力を重ね、将来に向けて更に成長していきたいです。

進路情報



主な進路実績 ※詳しい内容は学校 HP に掲載されています。

企業・法人

アイ・イー・シー株式会社	J X 金属株式会社 茨城事業所 鹿嶋地区	株式会社日立ハイテク 那珂地区
アイジー工業株式会社	株式会社 J E R A	株式会社日立ハイテクマニファクチャ&サービス
青柳工業株式会社	株式会社湘南工作所 水戸工場	株式会社日立パワーソリューションズ
株式会社青山製作所 茨城工場	新熱工業株式会社	株式会社日立ビルシステム 水戸事業所
アキラ株式会社	住友電気工業株式会社	株式会社日立プラントコンストラクション
A s t e m o 株式会社 佐和工場	積水ハウス建設関東株式会社	日野自動車株式会社
株式会社アセンド	センター電機株式会社	株式会社ファーストテック
株式会社アツクス 東海営業所	株式会社タイショー	株式会社ブイテックス 東海工場
株式会社池貝 本社筑波工場	株式会社多久製作所	藤井建設株式会社
茨城電設株式会社	桃栄金属工業株式会社 北関東工場	株式会社フジキン
茨城日野自動車株式会社	東京化成工業株式会社	三菱重工パワー検査株式会社
株式会社社内原電機製作所	東京電力パワーグリッド株式会社 日立工場	三菱重工株式会社 日立工場
エイ・ティ・エス株式会社	東興機械工業株式会社	株式会社水戸ホーテキ
A G C 株式会社 鹿島工場	東電タウンプランニング株式会社	株式会社ミナト電通システム
株式会社エヌ・ティ・ティ・エムイー	東都計装株式会社 水戸営業所	ミノシマ株式会社
株式会社関電工	東部液化石油株式会社 水戸支店	株式会社宮本冷機
キヤノン化成株式会社	東洋製罐株式会社 石岡工場	森松工業株式会社 関東工場
キヤノンワールド株式会社	ナブコシステム株式会社	ルネサスセミコンダクタマニファクチュアリング
桐井電設工業株式会社	株式会社ニコン 水戸製作所	株式会社レゾナック 山崎事業所
株式会社きんでん	日鉄テックスエンジニアリング株式会社	ロジスティクス東日本流通サービス株式会社
株式会社クボタ	日本アドバンスロール株式会社	I H I 運搬機械株式会社
株式会社クロス・アイ	日本原子力防護システム株式会社	ALSOK 野田セキュリティサービス株式会社
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構	日本放射線エンジニアリング株式会社	サイデン化学株式会社 浦和工場
検査開発株式会社	株式会社 N E S I	株式会社SUBARU 群馬製作所
原子力エンジニアリング株式会社	根本電興株式会社	株式会社東京精密
株式会社神戸工業試験場	パナソニック S P T 株式会社	日本オーテス・エレベーター株式会社
湖南電設株式会社	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	日本製鉄株式会社 東日本製鉄所 君津地区
株式会社小松製作所 茨城工場	日立建機株式会社	東日本旅客鉄道株式会社
沢井製薬株式会社 鹿島工場	日立交通テクノロジー株式会社	三井造船特機エンジニアリング株式会社
株式会社ふくろあまのりエンジニアリング 大洗製鉄所	株式会社日立産機システム	株式会社 J - P O W E R ハイテック
三和シャッター工業株式会社	株式会社日立製作所 大みか事業所	
J X 金属株式会社 茨城事業所 日立地区	株式会社日立製作所 日立事業所	

公共職業訓練施設

茨城県立情報テクノロジー大学校	関東職業能力開発大学校
茨城県立水戸産業技術専門学院	

専修学校等

アジア動物ベトスタイリスト専門学校	ホンダテクニカルカレッジ関東
大原ビジネス公務員専門学校	水戸情報 IT クリエイター専門学校
専門学校 つくば自動車大学校	専門学校 水戸自動車大学校
東京文化美容専門学校	水戸電子専門学校
専門学校 トヨタ東京自動車大学校	水戸日建工科専門学校
広島リゾート & スポーツ専門学校	医療専門学校 水戸メディカルカレッジ
専門学校文化デザイナー学院	日本工学院専門学校

公務員

陸上自衛隊

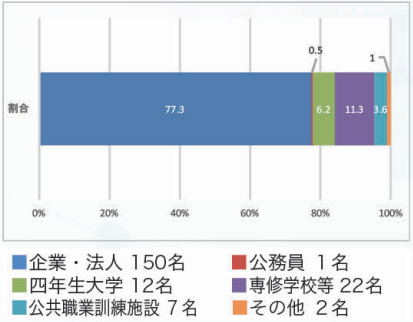
大学・短大

千葉工業大学
つくば国際大学
日本工業大学
城西国際大学
常磐大学
日本ウェルネススポーツ大学
洗足学園音楽大学
足利大学
東京電機大学
日本大学
湘南工科大学
医療創生大学

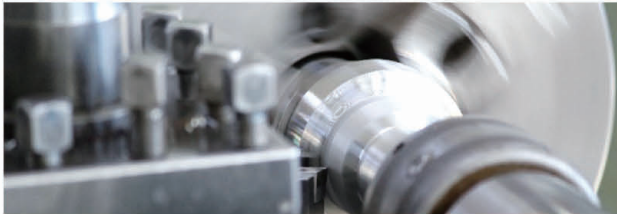
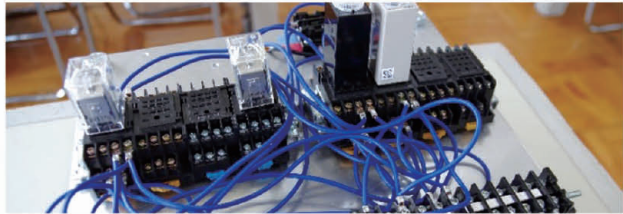
令和 7 年度 (3 月末) 進路結果一覧

就 職	企業・法人 公務員	150名 1名
進 学	四年生大学 専修学校等 公共職業能力開発施設	12名 22名 7名
その他		2名
合 計		194名

令和 7 年度 (3 月末) 進路結果一覧



資格取得



主な資格取得実績 ※○：国家資格 ◎：全国の高校で初の合格

資格・検定内容	種・級
○技能士	機械検査 2 級・3 級
	普通旋盤 3 級
	フライス盤 3 級
	機械保全 (機械系) 2 級・3 級
	機械保全 (電気系) 3 級
	マシニングセンタ 3 級
○ボイラー技士	1 級・2 級・講習修了
○電気工事士	1 種・2 種
○アマチュア無線技士	第三級・第四級
○陸上特殊無線技士	第二級・第三級
○情報処理技術者試験	基本情報技術者
	IT パスポート
○危険物取扱者	乙種 1 ～ 6 類
○工事担任者	甲種
	第二級デジタル通信

資格・検定内容	種・級
○小型車両系建設機械	講習修了
○クレーン特別教育	講習修了
○玉掛け技能講習	講習修了
○ガス溶接技能講習	講習修了
◎自主保全士	2 級
計算技術検定	1 級・2 級・3 級
情報技術検定	1 級・2 級・3 級
品質管理検定	3 級・4 級
機械製図検定	
基礎製図検定	
JIS 溶接技能者評価試験	基本級
リスニング英語検定	1 級・2 級・3 級
実用英語技能検定	2 級・準 2 級・3 級
日本漢字能力検定	2 級・準 2 級・3 級
実用数学技能検定	2 級・準 2 級・3 級



学校行事

4月

入学式
対面式
入学式オリエンテーション
二者面談



5月

遠足
生徒総会
前期中間考査



6月

面談週間
クラスマッチ



7月

前期期末考査
三者面談（3年）
野球応援
終講式



8月

インターンシップ（2年）
大学出前授業
二者面談（1・2年）
面接指導（3年）



9月

就職試験開始
三者面談（1・2年）



10月

芸術鑑賞会（3年に1回）
後期中間考査

11月

学校公開
修学旅行（2年）
防災訓練
勝工祭（3年に1回 令和10年度開催）



12月

マラソン大会
課題研究発表会（3年）

1月

全校課題研究発表会
学年末考査（3年）

2月

自由登校（3年）
学年末考査（1・2年）



3月

卒業式
学力検査
クラスマッチ

GIGA スクール構想

文部科学省では、Society5.0 時代を生きる子どもたちが活躍できる人材になるように、生徒が1人1台の端末を活用して学習する環境の実現に向けて「GIGA スクール構想」を推進しています。

本県では、令和3年度入学生から、それぞれ個人所有のキーボード付きタブレット型端末（モバイルパソコン）を学校に持ち込んでいただき、探求的な学びや協働的な学びなど、授業等の様々な場面において ICT を活用した学習活動の充実を図っています。

本校では Chromebook を導入し活用を進めております。授業資料配布、Google フォームによる授業評価アンケートの実施や学習の習熟度の分析、オンラインでの学校行事の実施や実習レポートのデジタル化や、Google スライドを活用した課題研究発表会など、ICT 機器を積極的に活用した学習を行っております。

■ **設備紹介** ※Wi-Fi：全教室に完備。体育館・尚武館・格技場・多目的ホールは60周年記念事業にて同窓会より設置していただきました。

■ **ICT 教育の実績** ※この他にも実習レポート、校内アンケート、休校期間中のオンライン授業等にも活用しています。



貸出用 Chromebook (80 台)



職員用 Chromebook



課題研究発表会（各教室で視聴）

施設・設備紹介



本館



昇降口吹き抜け



生徒ホール



本館廊下



本館教室



進路指導資料室



多目的室



保健室



美術室



多目的ホール



マシニングセンタ



溶接実習室



図書室



野球グラウンド



体育館



洋式トイレ（本館完備）



グラウンド



機械加工実習室（旋盤 22 台）



AED（4カ所）



課題研究室



材料倉庫



レーザー加工機



モデリングマシン



パソコン実習室（3カ所計 100 台）

運動部 —SPORTS—



硬式野球



バスケットボール



陸上競技



ハンドボール



体操競技



サッカー



ソフトテニス



ラグビーフットボール



卓球



バレーボール



柔道



水泳



剣道



少林寺拳法

■主な実績（令和7年度実績）

●バレーボール

令和7年度関東高等学校バレーボール大会茨城県予選会 第2位
令和7年度関東高等学校男女バレーボール大会 出場
令和7年度全国高校総体バレーボール競技茨城県予選会 第2位
令和7年度茨城県ジュニアビーチバレーボール大会 第1位 第3位
第79回国民スポーツ大会関東ブロック大会
ビーチバレーボール種目 出場
ビーチバレージャパンジュニア
JVA 第24回全日本ビーチバレーボール高等学校選手権大会 出場
第8回関東高等学校ビーチバレーボール選手権大会 第2位 出場
わた SHIGA 輝く 2025国民スポーツ大会バレーボール競技
ビーチバレーボール種目 出場
春の高校バレー JVA 第78回全日本バレーボール高等学校
選手権大会茨城県予選会 第2位
令和7年度茨城県高等学校バレーボール新人大会 出場

●バスケットボール

令和7年度関東高等学校バスケットボール大会
茨城県予選会水戸地区予選会 第3位
令和7年度関東高等学校バスケットボール大会
茨城県予選会 ベスト16
第78回全国高等学校総合体育大会

バスケットボール競技水戸地区予選会 県大会出場

●野球

第77回春季関東地区高校野球茨城県大会県北地区予選 代表権獲得
第77回春季関東地区高校野球茨城県大会 出場
第78回回北高等学校野球大会 ベスト4
第107回全国高等学校野球選手権茨城県大会 出場
第78回秋季関東地区高校野球茨城県大会県北地区1次予選 出場
第78回秋季関東地区高校野球茨城県大会県北地区2次予選 出場
第39回ひたちなか・東海地区高校野球大会 ベスト4

●サッカー

令和7年度関東高等学校サッカー大会水戸地区予選会 出場
令和7年度全国高校総体サッカー競技茨城県予選会 出場
第104回全国高校サッカー選手権大会茨城県大会 出場
高円宮杯 U-18 サッカーリーグ 2025
IFA4部リーグ 水戸地区 第5位

●ハンドボール

令和7年度関東高等学校ハンドボール大会県北・水戸地区
予選会 第2位
令和7年度関東高等学校ハンドボール大会茨城県予選会 出場
令和7年度全国高校総体ハンドボール競技県北・水戸地区
予選会 第4位

●ラグビーフットボール

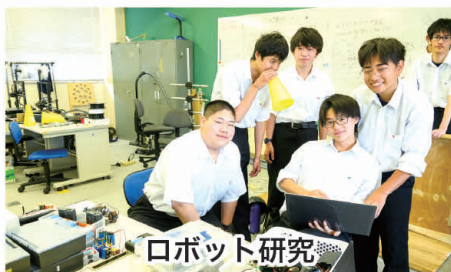
令和7年度関東高等学校ラグビーフットボール大会茨城県予選会 ベスト8

令和7年度全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会茨城県予選会 出場
令和7年度全国高校総体ラグビーフットボール競技茨城県予選会 出場
令和7年度茨城県高等学校ラグビーフットボール新人大会 ベスト8

●ソフトテニス

令和7年度関東高等学校ソフトテニス大会水戸地区予選会
男子個人 ベスト16
令和7年度関東高等学校ソフトテニス大会茨城県予選会
男子個人 出場
令和7年度全国高校総体ソフトテニス競技水戸地区予選会
男子個人 ベスト16
女子個人 ベスト16
令和7年度全国高校総体ソフトテニス競技茨城県予選会
男子個人 出場
女子個人 出場
令和7年度茨城県高等学校ソフトテニス夏季大会水戸地区予選会
男子個人ベスト16
令和7年度茨城県高等学校ソフトテニス新人大会水戸地区予選会
男子団体 第3位
男子個人 ベスト16
令和7年度茨城県高等学校ソフトテニス新人大会
男子団体 出場
男子個人 出場
令和7年度水戸地区シングルス大会 第1位

文化部 - CULTURE -



●少林寺拳法

令和7年度茨城県高等学校総合体育大会少林寺拳法競技
組演武 出場
兼 全国高等学校少林寺拳法大会茨城県予選会 出場
兼 関東高等学校少林寺拳法大会茨城県予選会
令和7年度第56回関東高等学校少林寺拳法大会
組演武 出場
令和7年度茨城県高等学校少林寺拳法新人大会
規定単独演武 第10位
兼 第29回全国高等学校少林寺拳法選抜大会茨城県予選会
兼 第28回関東高等学校少林寺拳法選抜大会茨城県予選会

●剣道

令和7年度春季水戸地区高校剣道大会
男子団体 出場
男子個人 ベスト16
令和7年度関東高等学校剣道大会茨城県予選会
男子団体 出場
令和7年度全国高校総体剣道競技茨城県予選会
男子団体 出場
令和7年度秋季水戸地区高校剣道大会

●無線

令和7年度茨城県高等学校第83回無線技術競技会(144MHzクラシック)
団体 第1位
男子個人 第3位 第4位
第20回全国高等学校ARDF競技大会(3.5MHzスプリント)
団体 第11位
第20回全国高等学校ARDF競技大会(144MHzスプリント)
団体 第7位
男子個人 第6位
令和7年度茨城県高等学校第84回無線技術競技会(144MHzスプリント)
団体 第2位
男子個人 第2位

男子団体 出場
ひたちなか市民剣道大会
男子団体 出場
茨城県高校剣道勝ち抜き大会 出場
水戸地区中学・高校剣道団体選手権大会 出場
第8回関東工業高校剣道大会
男子団体 ベスト4
茨城新聞社旗高校剣道大会 出場
令和7年度茨城県高等学校剣道新人大会 出場

●卓球

令和7年度関東高等学校卓球大会水戸地区予選会
学校対抗 第1位
ダブルス 第1位 第3位
シングルス 第1位 第2位
令和7年度関東高等学校卓球大会茨城県予選会
学校対抗 ベスト16
令和7年度全国高校総体卓球競技茨城県予選会
学校対抗 第1位
ダブルス 第2位
シングルス 第1位 第3位

●軽音楽

校内新入生歓迎ライブ
本校 勝工祭 演奏

●吹奏楽

令和7年度県央地区吹奏楽連盟主催音楽会
本校 勝工祭 演奏

●美術

茨城県高等学校総合文化祭 美術展覧会 入選
本校 勝工祭 作品展示

●工業技術

令和7年度第25回茨城県高等学校電気工事コンテスト
第6位 第10位

令和7年度全国高校総体卓球競技茨城県予選会
学校対抗 ベスト16
令和7年度全日本卓球選手権大会ジュニアの部水戸地区予選会
ダブルス 第2位
令和7年度水戸地区高校卓球新人大会
学校対抗 第3位

●体操競技

令和7年度関東高等学校体操競技大会
男子個人 出場
男子個人 出場
第79回国民スポーツ大会関東ブロック大会
出場
令和7年度全国高校総体体操競技大会
男子個人 出場

●水泳

令和7年度茨城県高等学校水泳新人大会
50m バタフライ 第2位

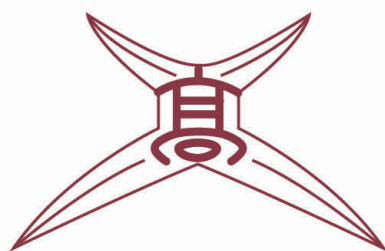
全日本製造業コマ大戦 第7回桐生場所 出場

●JRC

ペットボトルキャップ回収
「被災地に土のう袋を送ろう」活動参加
千羽鶴の作成及び広島平和祈念公園へ捧げる
歳末助けあい募金活動参加
校内美化(勝工祭等)

2027 スクールガイド制作(課題研究デジタル演習班)

・金安 凜子 ・神永 真央 ・萩谷 琴音



茨城県立勝田工業高等学校

〒312-0016 茨城県ひたちなか市松戸町3丁目10番1号

TEL.029-272-4351

FAX.029-276-1651

URL <https://www.katsuta-th.ibk.ed.jp>

E-mail jiho@katsuta-th.ibk.ed.jp

